

九州ネット

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

宮崎県開催<チキン南蛮ラウンド> H30.10.20(Sat) in 宮崎大学教育学部附属中学校

九州ネットワーク研究会「チキン南蛮ラウンド」を宮崎県宮崎市で開催されました。県外5名、県内26名、合計31名の方々に参加いただき、開催することができました。ありがとうございました。

1 実践発表1「小学校体育科における“主体的・対話的で深い学び”の授業について」 宮崎市立古城小学校 教諭 川崎 直人

体育振興指導教員（県小体連研究部長・学校内では体育専科）である川崎教諭に第2学年のボールゲーム、第5・6学年の水泳運動における指導実践について、工夫したルールや児童にわかりやすい学習資料など、授業での取組を動画など、児童の活動の様子も含めて紹介いただきました。



2 実践発表2「中学校保健体育科における“主体的・対話的で深い学び”の授業について」 宮崎大学教育学部附属中学校 教諭 西田 英司

附属中学校や宮崎地区中学校体育連盟研究部における取組について、体づくり運動の授業研究を中心に説明していただきました。宮崎県では、2年後に九州学校体育研究発表大会を控えており、それに向けての準備段階での内容でもありました。



3 講義「新学習指導要領における保健教育の在り方」 桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊

新学習指導要領について、特に、保健教育に関わる内容についてお話しをいただきました。具体的には、改訂の要点、カリキュラム・マネジメント、新学習指導要領の理解についてなどについて説明していただき、今後の授業改善に向けて大変参考になり、さらには、この後のワークショップにつながるお話しをいただきました。



4 ワークショップ「“主体的・対話的で深い学び”の実現に向けた単元計画（保健）の作成」

小学校4グループ、中学校2グループ、高等学校1グループに分かれて、小学校が「けがの手当」、中学校・高等学校が「応急手当」の単元について、単元構造図及び1時間の展開について作成しました。学習内容に「技能」が新たに盛り込まれた単元であり、どのように指導するのか、熱心な協議が行われました。また、各校種の発表を聞くことで、同じ手当でも学習内容がどのように違うのかなど、系統化された内容を確認することもできました。



御参加いただきました先生方、ありがとうございました。